

2023年2月2日

投資家の皆様へ

T&Dアセットマネジメント株式会社

「T&D インド中小型株ファンド」を取り巻く市場環境について

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

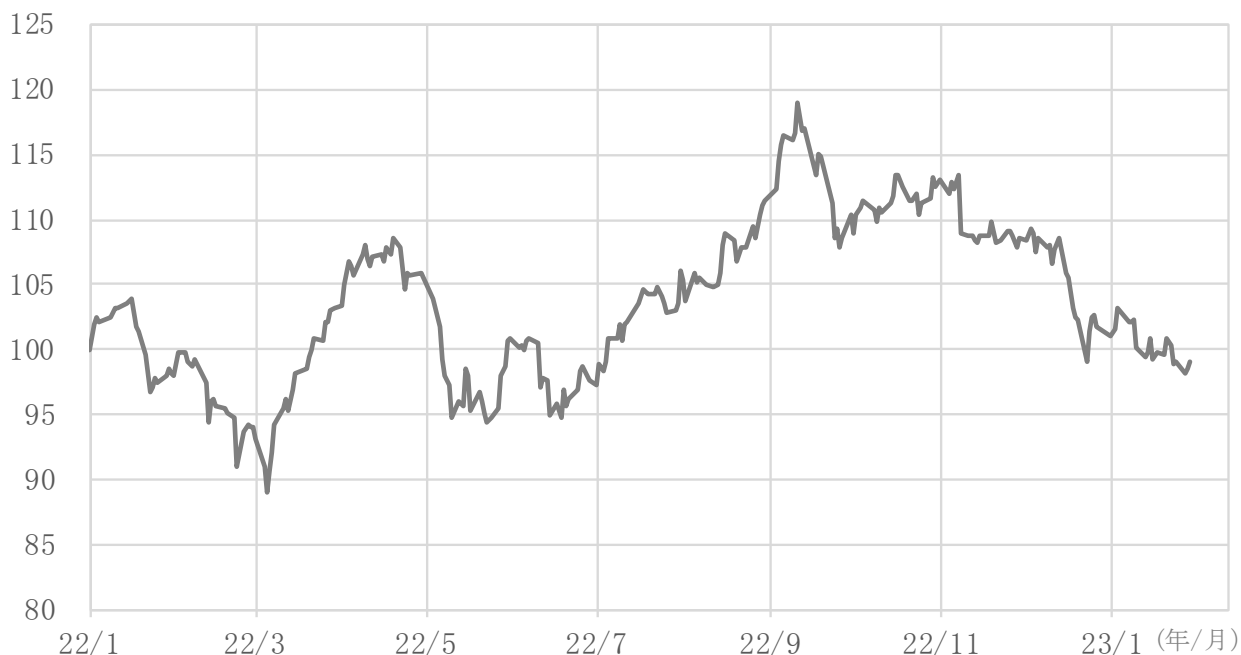
足許の市場環境と「T&D インド中小型株ファンド」(以下、「ファンド」ということがあります。)への影響に関しまして、下記の通りご案内いたします。

今後ともお引き立てを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬具

記

◆ファンドの分配金再投資基準価額の推移(直近約1年間)



2022年1月4日を100として指数化

期間:2022年1月4日~2023年2月1日(日次)

◆アダニ・グループの株価急落の背景と現状

2023年1月24日、米国の投資会社であるヒンデンブルグ・リサーチは、インドのエネルギーからインフラストラクチャーまで事業展開するコングロマリットであるアダニ・グループによる不正会計疑惑を指摘するレポートを発表しました。レポートはアダニ・グループの主力企業であるアダニ・エンタープライゼスの約25億ドルの公募増資に先立ち発表され、同グループの主要上場企業の株価は急落しました。(ファンドでは実質的にアダニ・グループの株式の保有はございません。)

その後、1月30日にアダニ・グループはヒンデンブルグの報告書に対して回答を発表し、同グループはすべての現地法に準拠し、必要な規制に基づく開示を行ったと反論しています。

◆インドの金融市場への影響

上記を受けて、アダニ・グループの主要上場企業の株価は、1月25日から31日にかけて、約14%から46%の範囲で大幅に修正されました。同期間に、Nifty50指数は約3%下落となりました。ほとんどの大手銀行は、このグループにある程度エクスポージャーを有しており、公的部門の銀行が民間よりも高いエクスポージャーを有しています。インドの銀行システムは、健全なバランスシート、強力な資本ポジション、十分な流動性を備えています。本件がどのように展開するかを引き続き警戒していますが、現時点では、本件によるインドの銀行システムへのシステムック・リスクは見られないと考えています。

◆ファンドへの影響

ファンドが主要投資対象とするモーリシャス籍・外国投資法人「ライジング・インディア・フォーカス・ファンド・リミテッド アイプロ・インド中小型株ファンド(米ドル建)」投資証券(以下「外国投資証券」ということがあります。)では、アダニ・グループの株式の保有はございません。過度な財務レバレッジをかけている企業への投資を回避するという哲学に基づき、アダニ・グループの株式は投資対象ユニバースに入っておりません(アダニ・グループに買収される前からすでにユニバースに入っていた一部の銘柄を除く)。

なお、外国投資証券では、優良な大手銀行と中規模銀行に投資しています。インドの銀行株は、アダニ・グループへの貸し出しへの懸念から全般に株価が下落し、保有しているICICI銀行も1月25日から31日の期間で約4%の株価下落となりました。しかし、運用チームでは同行が堅調な純利息マージンに支えられ、緊急時にも十分な引当金を備えているため、資産の質の問題が発生した場合でも乗り切ることができるものと考えています。

出所:外国投資証券の投資助言会社であるインベスコ・アセット・マネジメント(インド)プライベート・リミテッドから受領した2023年2月2日時点の情報に基づきT&Dアセットマネジメントが作成

以上

当資料はT&Dアセットマネジメントが投資家の皆様への情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成したものです。その正確性・完全性を保証するものではありません。また投資信託の取得をご希望の場合は、下記のご留意事項を必ずご確認ください。

投資信託のお申込みに際してのご留意事項

投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券、投資信託証券など値動きのある有価証券(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)に投資しますので、運用実績は市場環境等により変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。これら運用による損益は全て投資者に帰属します。

また、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書(交付目論見書)をよくお読みいただき、ご自身でご判断ください。

投資信託に係る費用について

◇投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料・・・上限 **4.40%(税込)**

信託財産留保額・・・上限 **解約金額の0.55%** または1口(設定時1口1万円)あたり **250円**

◇投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用(信託報酬)・・・上限 **年1.98%(税込)**

その他費用・手数料・・・上記以外に保有期間に応じてご負担いただく費用があります。

投資信託証券を組み入れる場合には、間接的にご負担いただく費用として、当該投資信託の資産から支払われる運用報酬、投資資産の取引費用等が発生します。これらの間接的な費用のご負担額に関しましては、その時々各投資信託証券の組入比率や取引内容等により金額が変動しますので、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※上記の費用の合計額については、投資者がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※詳細につきましては必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」でご確認ください。

《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、T&Dアセットマネジメントが運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資される際には、「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容をよくお読みください。